

# 令和7年度 上野中学校教職員 働き方改革アクションプラン

上野中学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

## 1 現状

[定量的現状]

- ◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」目標達成状況について「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。」
  - ・R7年度目標:5人(R6年度:9人)
- 「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。」
  - ・R7年度目標:0人(R6年度:1人)

[定性的現状]

- 教職員の意識
  - ・働き方改革の目的が全職員に周知され、取組が意識されている。
  - ・時間外勤務している教職員が固定している。
- 管理職のマネジメント
  - ・働き方改革の推進に向けて、行事や教育活動のねらいを確認し、内容の吟味と精選を継続している。



## 2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

- 北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。
- 本校に勤務する先生方のウェルビーイングを向上します。

<目指す姿>

- ・ 子どもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- ・ 働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。
- ・ 管理職が日頃から、教職員に対し自身の勤務時間の把握と用務改善の取り組みを進めるよう呼びかけを行っている。
- ・ 教職員が、自ら課題をもち自己研鑽する時間やリフレッシュする時間を十分に確保できている。
- ・ 教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。

## 3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

### ○ 教職員の健康管理

- ・ 働き方改革プランの時間外在校時間削減の取組・対応の在り方について周知徹底に努め、検討、改善します。
- ・ 管理職は、教職員が各自の時間外在校時間の把握に努め、働き方改革を推進できるよう積極的に声掛けをします。
- ・ 管理職が校務支援システムにより各月の教職員の時間外在校時間等を確実に把握します。月の時間外在校時間等が80時間超となった教職員に対して、健康確保の観点から面談を実施します。
- ・ 健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。

### ○ 学校における業務改善の推進

- ・ 効率的、効果的な学校づくりに向け、PDCAサイクルを生かした組織マネジメントの取組を推進します。
- ・ 業務の推進にあたっては、担当者任せにすることなく、組織で対応することを徹底します。
- ・ 校務支援システムやICTの活用により、業務の効率化を進めます。
- ・ 定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定します。(安全衛生委員会等)
- ・ 学校行事や教育活動全般について、義務教育において真に必要な活動かどうかという観点から、更に内容の吟味、精選を進めます。
- ・ 勤務時間内に会議が終了するよう焦点を絞って効率的に進めます。

### ○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ 生徒の参加する地域行事等については、地域の理解・協力を得て対応します。
- ・ 教職員参加の地域行事等について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・ 働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう校報等により周知します。
- ・ 部活動については、地域人材の活用や効果的な地域移行のあり方を検討するとともに、生徒数及び教職員数に応じた適正な部活動の設置について検討していきます。

令和7年4月5日 上野中学校長 菊池良弥

### (参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

○ 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

〔・令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%〕

(2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

〔・令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0%〕